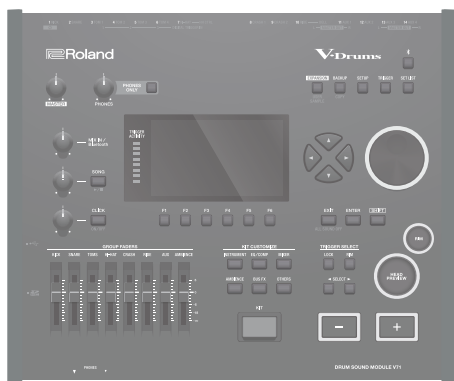




Roland

V-Drums

V71

DRUM SOUND MODULE

クイック・スタート

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

準備する	2
各部の名称とはたらき	2
トップ・パネル	2
サイド・パネル/フロント・パネル	4
ボトム・パネル	4
リア・パネル (接続する)	5
電源を入れる/切る	6
デジタル接続対応パッドの設定をする	7
ハイハットの設定をする	8
基本操作	9
奏法について	10
演奏する	12
ドラム・キットとインストゥルメント	12
インストゥルメント・エクスパンション	12
ラックとスロット	12
ドラム・キットを選ぶ	13
リストからドラム・キットを選ぶ	13
インストゥルメント・エクスパンションのドラム・キットを読み込む	14
クリックを鳴らす	15
曲に合わせて演奏する	15
スマートフォンの曲に合わせて演奏する	15
V71 のソングに合わせて演奏する	16
お気に入りのドラム・キットを登録する/呼び出す	17
演奏を録音する	17
ドラム・キットをカスタマイズする	18
インストゥルメントをエディットする (INSTRUMENT)	18
パッドやドラム・キットの音質を調節する (EQ/COMP)	19

ミキサーをエディットする (MIXER)	19
演奏する場所の残響を再現する (AMBIENCE)	20
エフェクトをかける (BUS FX)	20
ドラム・キットをエディットする (OTHERS)	21
ドラム・キットの音量を設定する (KIT VOLUME)	21
ボタンやダイヤルの点灯色を設定する (KIT COLOR)	21
ドラム・キットの名前を変更する (KIT NAME)	21
オーディオ・ファイルを取り込む/鳴らす (USER SAMPLE)	22
オーディオ・ファイルを取り込む	22
ユーザー・サンプルをインストゥルメントに割り当てる/鳴らす	22

設定する	23
トリガーの設定	23
パッドの種類を設定する	23
パッドの感度を個別に調整する	23
インストゥルメント・エクスパンションの設定をする	24
データをバックアップする	24
SD カードを初期化する	24
SD カードにバックアップする (SAVE)	25
バックアップ・データを SD カードから読み込む (LOAD)	25
V71 全体の設定をする (SETUP)	26
パソコンやスマートフォンと接続して使う	26
USB ドライバーの設定をする	27
パソコンでエディター・アプリ「V71 Editor」を使う	27
工場出荷時の設定に戻す	27
ドラム・キットを工場出荷時の設定に戻す	28

安全上のご注意	29
使用上のご注意	29

紙マニュアル

- クイック・スタート (本書)
基本的な使いかたを説明しています。
- Roland Cloud Connect セットアップ・ガイド
Roland Cloud への登録や接続のしかたについて説明しています。



PDF マニュアルの入手方法

- パソコンなどで下記の URL を入力します。
<https://www.roland.com/jp/manuals/>
- 製品名「V71」を選んでください。



PDF マニュアル (Web からダウンロード)

- リファレンス・マニュアル
本機のすべての機能について説明しています。
- Roland Cloud ご利用ガイド
Roland Cloud の活用方法についての詳細を説明しています。
- データ・リスト
本機のパラメーターや音色について解説しています。
- MIDI インプリメンテーション
MIDI メッセージの詳細資料です。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシとクイック・スタート (P.29))をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

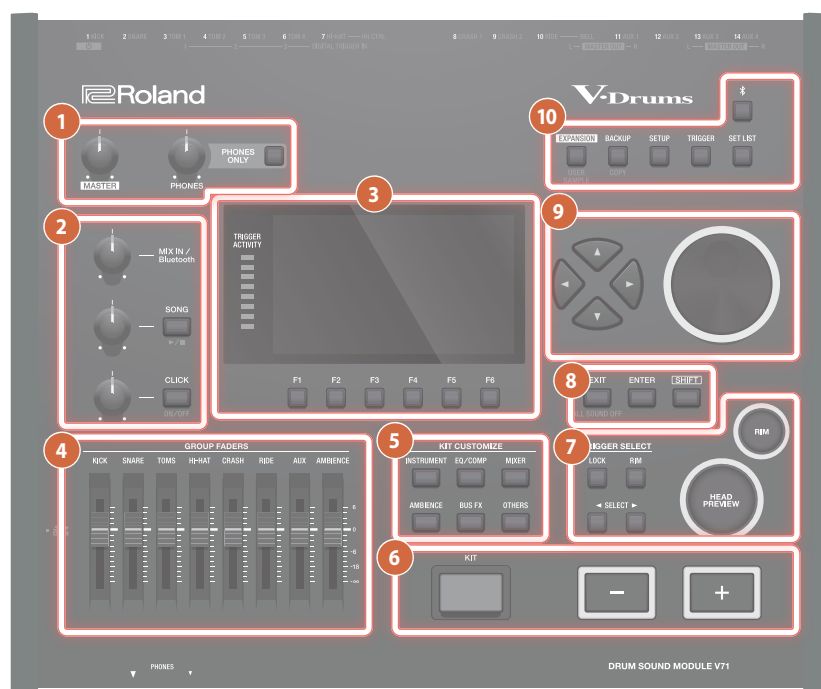
© 2024 Roland Corporation



準備する

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1

[MASTER] つまみ

MASTER OUT 端子から出力される音量を調節します。

[PHONES] つまみ

PHONES 端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

[PHONES ONLY] ボタン

[PHONES ONLY] ボタンを長押しして点滅させると、PHONES 端子からのみ音を出力します。その他の端子からは出力されません。

ライブなどで手元での出音の確認などに便利です。

2

[MIX IN/Bluetooth] つまみ

MIX IN (STEREO) 端子の入力音量と Bluetooth® オーディオの音量を調節します。

[SONG] つまみ

ソング (オーディオ・ファイル) の音量を調節します (内蔵ソングのドラム演奏音や、録音したドラムの演奏音には効きません) (P.16)。

[SONG] ボタン

SONG 画面を表示します。ソングや録音したデータの再生や、ソングに関する設定をするときに押します (P.16)。

また、[SHIFT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押すと、ソングや録音したデータを再生/停止します。

[CLICK] つまみ

クリックの音量を調節します (P.15)。

[CLICK] ボタン

クリックを鳴らしたり、テンポやクリックの設定をしたりします。

また、リズム・トレーニングをするときに押します (P.15)。

また、[SHIFT] ボタンを押しながら [CLICK] ボタンを押すと、クリックのオン/オフができます。

3

[F1] ~ [F6] ボタン (ファンクション・ボタン)

ディスプレイの表示によって機能が変わるボタンです。ディスプレイの下部に表示されている機能を設定します。

TRIGGER ACTIVITY インジケーター

パッドからのトリガー信号 (パッドが叩かれたときに出力される信号) を受信すると、点灯します。パッドが正しく接続されているかをチェックできます。

ディスプレイ

操作に応じて、いろいろな情報が表示されます。

4 フェーダー

キック、スネア、ハイハット、その他の打楽器、アンビエンスなどの音量を調節します。

5 KIT CUSTOMIZE

[INSTRUMENT] ボタン

インストゥルメント (音色) を設定します (P.18)。

[EQ/COMP] ボタン

パッドやドラム・キットごとのイコライザー、コンプレッサーなどを設定します (P.19)。

[MIXER] ボタン

パッドやドラム・キットごとの音量、パンなどを設定します (P.19)。

[AMBIENCE] ボタン

ドラム・キット全体を集音する、オーバーヘッド・マイクの音や、ドラムを演奏する場所の残響や鳴りかたを設定します (P.20)。

[BUS FX] ボタン

バス (音声の通り道) に割り当てるエフェクトやルーティング (接続順) を設定します (P.20)。

[OTHERS] ボタン

ドラム・キットに関するさまざまな設定をします (P.21)。

6

[KIT] ボタン

KIT 画面が表示されます。

[-] [+] ボタン

ドラム・キットを切り替えたり、値を変えたりするときに使います。また、[SHIFT] ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押すと、値の変化量を大きくすることができます。

7 TRIGGER SELECT**[LOCK] ボタン**

[LOCK] ボタンを押して点灯させると、パッドを叩いても、設定するパッドが切り替わらなくなります。フレーズを演奏しながら設定するときに便利です。

[RIM] ボタン

リム対応のパッドを使うときに、ヘッド側とリム側のどちらを設定するのかわびます。3 ウェイ・トリガー対応パッドの場合は、ヘッド側、リム側、ベル側を切り替えます。

SELECT [◀] [▶] ボタン

設定の対象となるパッド (トリガー・インプット番号) を選びます。

[HEAD PREVIEW] ボタン、[RIM] (PREVIEW) ボタン

インストゥルメントを試聴するボタンです。ボタンを押す強さで音量が変わります。ヘッド側とリム側をそれぞれ試聴することができます。

SELECT [◀] [▶] ボタンでトリガー・インプット番号を選ばと、V71 にパッドが接続されていなくても聴くことができます。

※ パッド (トリガー・インプット番号) に KICK が選ばれている場合は、[RIM] (PREVIEW) ボタンを押しても音は鳴りません。

注意

V71 本体に強い衝撃がかかると、プレビュー音が鳴ることがあります。その場合は、以下の手順でプレビュー機能をオフにすることができます。

[KIT] ボタンを押しながら [HEAD PREVIEW] ボタンまたは [RIM] (PREVIEW) を押す → Preview Mode パラメーターを [PREVIEW OFF] に設定

8

[EXIT] ボタン

一度押すと、1 つ上の階層の画面に戻ります。続けて何度か押すと、最終的に KIT 画面に戻ります。

また、[SHIFT] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、発音しているすべての音を止める (消音する) ことができます (ALL SOUND OFF (*1))。多くのループ・フレーズを一度に停止させるときに便利です。

*1: エフェクトの残響音、ソング、クリックは停止しません。

[ENTER] ボタン

値の確定や操作を決定するときに押します。

[SHIFT] ボタン

他のボタンと組み合わせて使います。このボタンを押している間、他のボタンの機能が変わります。

9

[▲] [▼] [◀] [▶] ボタン (カーソル・ボタン)

カーソルを移動します。

ダイヤル

[-] [+] ボタンと機能は同じです。ドラム・キットや設定値を一度に大きく変えたいときに、このダイヤルを使います。

また、[SHIFT] ボタンを押しながらダイヤルを回すと、値の変化量を大きくすることができます。

10

[EXPANSION] ボタン

Roland Cloud から V71 にインストールしたインストゥルメント・エクスパンション (ドラム・キットとインストゥルメントのパッケージ) を設定します (P.14)。

また、[SHIFT] ボタンを押しながら [EXPANSION] ボタンを押すと、ユーザー・サンプル機能 (P.22) を使うことができます。

[BACKUP] ボタン

V71 全体の設定やドラム・キットの設定を、SD カードにバックアップしたりロード (読み込み) したりします (P.24)。

また、[SHIFT] ボタンを押しながら [BACKUP] ボタンを押すと、ドラム・キットやインストゥルメントなどの設定をコピーすることができます。

[SETUP] ボタン

出力先の設定 (アウトプット・アサイン) や MIDI の設定など、V71 全体に関する機能を設定します (P.26)。

[TRIGGER] ボタン

トリガー・パラメーターを設定します (P.23)。

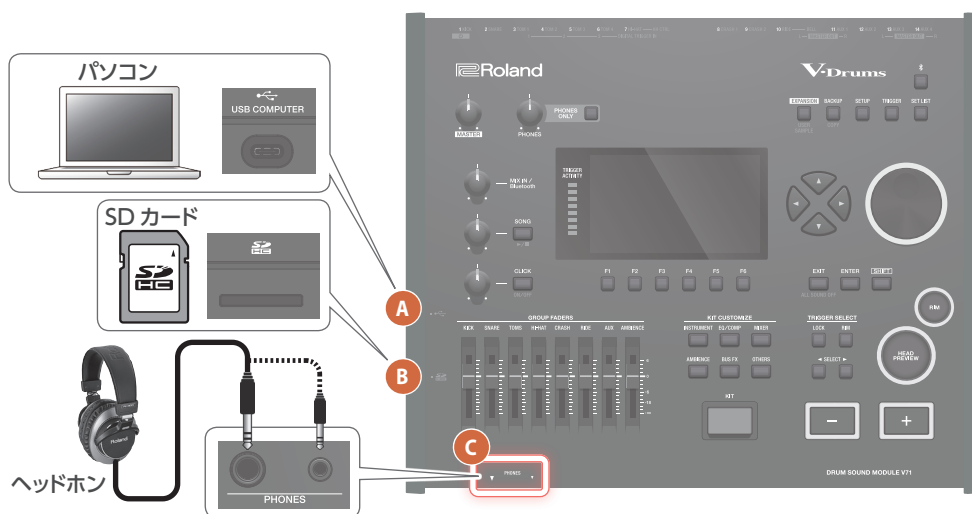
[SET LIST] ボタン

セット・リストの作成や、セット・リストで指定した順番でドラム・キットを切り替えるときに使います。セット・リスト機能がオンのときは、[SET LIST] ボタンが点灯します。

[*] (Bluetooth) ボタン

スマートフォンなどのモバイル機器 (以下「スマートフォン」と呼びます) などと無線接続して、スマートフォンに入っている曲を再生しながらドラム演奏することができます (P.15)。

サイド・パネル／フロント・パネル



A USB COMPUTER 端子

V71 とパソコンを USB ケーブルで接続します。DAW ソフトウェアを使って、V71 の演奏をオーディオや MIDI で録音したり、パソコンで再生した音を V71 で鳴らしたりすることができます。また、エディター・アプリ「V71 Editor」を使ってパソコンでドラム・キットをエディットできます (P.26)。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

B SD カード・スロット

市販の SD カード (SDHC カード (32GB) まで対応) を挿入します。

SD カードには、ソングや V71 のデータを保存することができます。また、ユーザー・サンプルの取り込みや、録音したソングのエクスポートなどにも使います。

初めて SD カードを使うときは、本機で SD カードを初期化 (フォーマット) してください (P.24)。

※ 画面に「Processing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。

※ メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

C PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンを接続しても、アウトプットの各端子からは音が出されません。

ボトム・パネル

スタンドに取り付ける

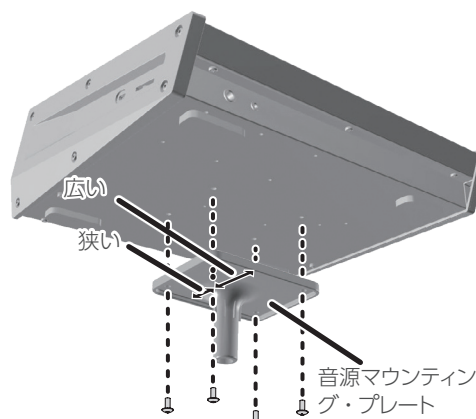
音源マウンティング・プレートを使って、V71 をドラム・スタンドに取り付けます。

音源マウンティング・プレートは、別売のドラム・スタンド (MDS シリーズ、PDS シリーズ) に付属しています。

V71 の底面にあるネジを使って、図のように取り付けてください。

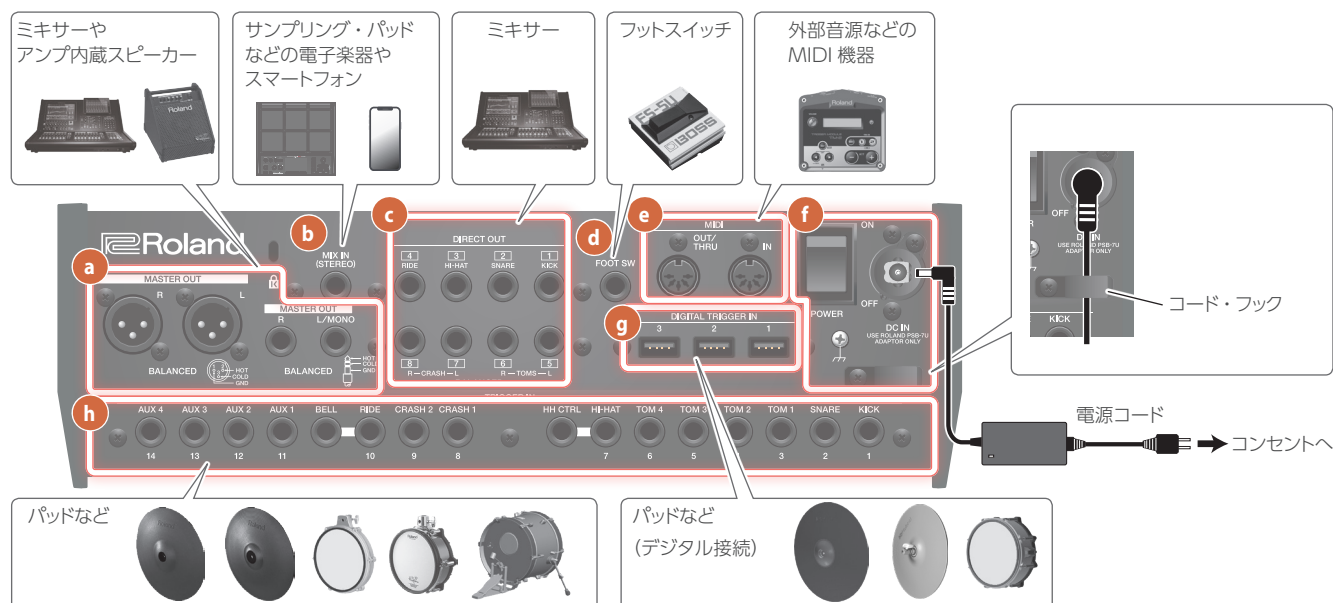
※ V71 の底面にあるネジ以外は使わないでください。故障の原因になります。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。



リア・パネル（接続する）

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

**a MASTER OUT 端子（バランス）**

ミキサーやアンプ内蔵スピーカーや録音機器などに接続します。

モノで出力したいときは、MASTER OUT (TRS 標準タイプ) 端子の L / MONO のみに接続してください。

※ MASTER OUT 端子のピン配置

**b MIX IN (STEREO) 端子**

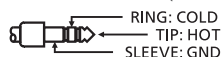
サンプリング・パッドなどの電子楽器やスマートフォンなどに接続します。

c DIRECT OUT (BALANCED) 端子

ミキサーなどに接続します。

各インストゥルメントなどを DIRECT OUT 1 ~ 8 のどの端子から出力するかは、[SETUP] ボタンで設定します。

※ DIRECT OUT (BALANCED) 端子のピン配置

**d FOOT SW 端子**

フットスイッチ（別売：BOSS FS-5U、FS-6）を接続して、さまざまなコントロールができます。

e MIDI 端子

外部音源などの MIDI 機器を接続します。

f**[POWER] スイッチ**

電源をオン/オフします。

DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。

接地端子

外部アースまたは大地に接地します。

g DIGITAL TRIGGER IN 端子

デジタル接続対応のパッド（PD-14DSX、PD-140DS、CY-18DR、VH-14D など）を接続します。

h TRIGGER IN 端子

シンバル、ハイハット、キックなどを接続します。

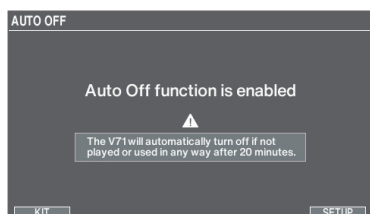
※ デュアル・トリガー・タイプのパッドを接続するときは、ステレオ・タイプ (TRS) のケーブルを使います。

電源を入れる／切る

- ※ 正しく接続したら (P.5)、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. V71 と接続した機器の音量を最小にします。
2. V71 の [POWER] スイッチを [ON] にします。
電源を入れると、以下の画面が表示されます。



- ※ Auto Off 機能を「OFF」に設定していると、この画面は表示されません。
- ※ Auto Off 機能の設定を変更する場合は、[F6] (SETUP) ボタンを押します。詳しくは「一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (AUTO OFF)」(P.6) をご覧ください。
- 3. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。
- 4. 接続した機器の電源を入れ、音量を調節します。

電源を切る

注意

V71 で変更した値は、電源を切るときにも保存されます。必ず [POWER] スイッチを [OFF] にして、電源を切るようにしてください。

1. V71 と接続した機器の音量を最小にします。
2. 接続した機器の電源を切ります。
3. V71 の [POWER] スイッチを [OFF] にします。
[Please wait. Now saving...] と表示され、設定が保存されると電源が切れます。

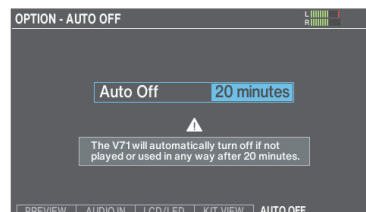
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (AUTO OFF)

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間 (初期値: 20 分) が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れます。

- 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 自動的に電源が切れないようにするには、設定をオフにしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
- 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

1. [SETUP] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで [OPTION] を選び [ENTER] ボタンを押します。
3. [F5] (AUTO OFF) ボタンを押します。

AUTO OFF 画面が表示されます。



4. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、オート・オフ機能を設定します。

設定値	説明
OFF	電源は自動的に切れません。
20 minutes (初期値)	一定時間 (20 分または 4 時間) 以内にパッドを叩かなかつたり何も操作をしなかつたりすると、自動的に電源が切れます。
4 hours	

※ [20 minutes] 以外を選ぶと、確認画面が表示されます。「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

5. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

メモ

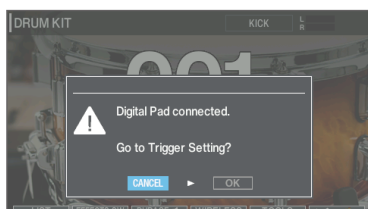
Auto Off 機能を「20 minutes」または「4 hours」に設定していると、電源が切れる 10 分前 (20 minutes) または 30 分前 (4 hours) に、電源が切れるまでの時間が表示されます。

デジタル接続対応パッドの設定をする

DIGITAL TRIGGER IN 端子にデジタル接続対応のパッドを初めて接続すると、以下の画面が表示されます。

画面に従って、接続したパッドをどのトリガー・インプットに割り当てるか設定します。

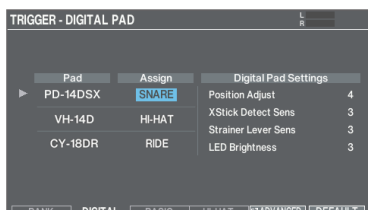
※ TRIGGER IN 端子に接続したパッドと同じトリガー・インプットに割り当てると、TRIGGER IN 端子に接続したパッドの音は出力されません。



→ パッドの設定について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

1. 「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

TRIGGER - DIGITAL PAD 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンで設定するパッドの Assign (アサイン) を選び、[-] [+] ボタンまたはダイヤルで設定します。

パッドを選べると、選んだパッドの [FUNC] ボタンが点滅します。
設定例：

Pad (パッド)	Assign (アサイン)
PD-14DSX、PD-140DS	SNARE
CY-18DR	RIDE
VH-14D	HI-HAT

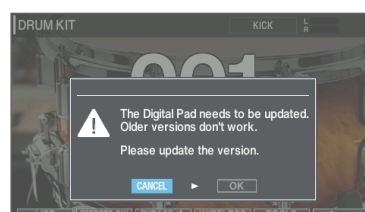
※ 同じアサインを複数設定することはできません。

3. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

バージョンの古いデジタル・パッドを接続すると、以下の画面が表示されます。パッドをアップデートしてください

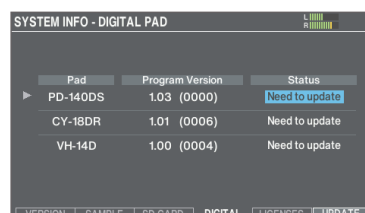
以下の画面が表示されたら、パッドをアップデートしないと V71 で正常に使用できない場合があります。以下の手順に従いパッドをアップデートしてください。

※ パソコンとパッドを接続してアップデートすることもできます。詳しくは、各パッドのサポート・ページをご覧ください。



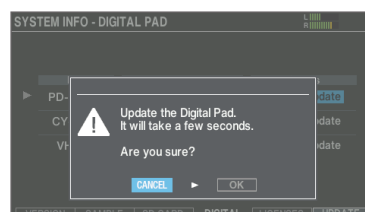
1. 「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SYSTEM INFO - DIGITAL PAD 画面が表示されます。



2. Need to update にカーソルを合わせ、[F6] (UPDATE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. 「OK」を選び [ENTER] ボタンを押します。

パッドのアップデートが始まります。

「Complete!」と表示され、Status が「OK」になったらアップデート完了です。

※ アップデートには数分かかることがあります。

※ 画面に「Processing...」と表示されている間は、絶対にデジタル・パッドの接続をはずしたり電源を切ったりしないでください。

※ アップデート中にデジタル・パッドを抜いたり、V71 の電源が落ちたりしてアップデートが失敗すると、V71 がデジタル・パッドを認識できなくなる場合があります。対処方法について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ハイハットの設定をする

V ハイハット (VH-14D、VH-13 など) を使うときは、V71 でオフセットの調整をしてください。

オープン、クローズやペダルの動きを正しく検出するために必要です。

例) VH-14D の設定をする

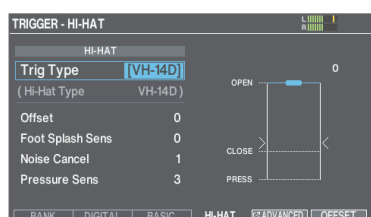
1. [TRIGGER] ボタンを押します。

2. [F4] (HI-HAT) ボタンを押します。

TRIGGER - HI-HAT 画面が表示されます。

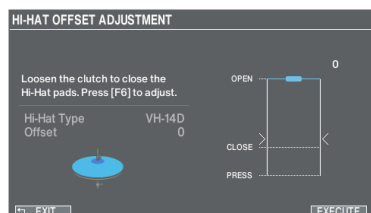
Trig Type が「VH-14D」になっていることを確認します。

※ VH-14D が未接続、またはハイハットにアサインされていない場合は、Trig Type に VH-14D が表示されません。その場合は VH-14D を接続してハイハットにアサインします (P.5)。



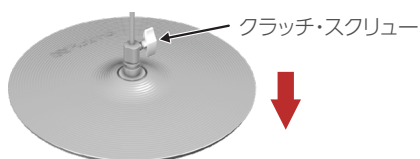
3. [F6] (OFFSET) ボタンを押します。

HI-HAT OFFSET ADJUSTMENT 画面が表示されます。



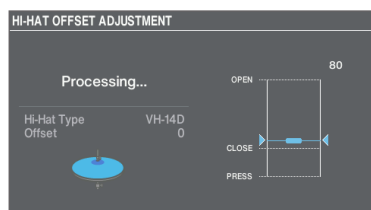
4. VH-14D のクラッチ・スクリューを緩め、ハイハットを閉じた状態にします。

※ ハイハット本体やペダルには触らないでください。



5. [F6] (EXECUTE) ボタンを押します。

キャリブレーションが開始され、「Processing…」と表示されます。



キャリブレーションが終了すると、「Complete!」と表示され、TRIGGER 画面に戻ります。

6. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

必要に応じて、パラメーターを微調整します。

→ 『リファレンス・マニュアル』 (Web)

メモ

[KIT] ボタンを押しながら [TRIGGER] ボタンを押して、オフセットを調整することもできます。

基本操作

全体の音量を調節する
（[MASTER] つまみ、
[PHONES] つまみ）

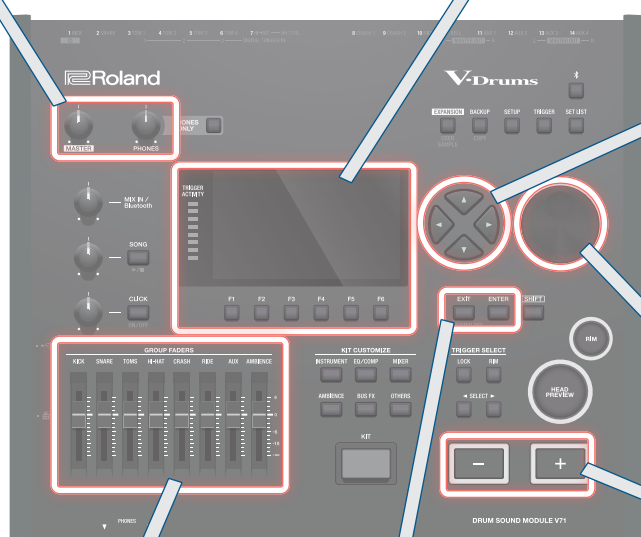
[MASTER] つまみを使って、MASTER OUT 端子から出力される音量を調節し、
[PHONES] つまみを使って、ヘッドホンの音量を調節します。

タブを切り替える、機能を
設定する（[F1] ～ [F6]
ボタン）

[F1] ～ [F6] ボタンを使って、ディスプレイ下部に表示されているタブを切り替えたり、ディスプレイの下部に表示されている機能を設定したりできます。

カーソルを移動する
（カーソル・ボタン）

カーソルは、画面上の設定可能な部分を反転表示します。画面の中に設定する内容がいくつかあるときは、カーソル・ボタンを押して設定したいところにカーソルを合わせます。

パッドの音量バランスを調節
する（フェーダー）

フェーダーでV71全体の音量バランスを調節できます。

ミキサー（P.19）を使うと、ドラム・キットごとにパッドの音量バランスを調節できます。ミキサーの設定は、ドラム・キットごとに保存できます。

次のトリガー・インプットや各種音量を調節できます。

フェーダー	説明
KICK	KICK
SNARE	SNARE
TOMS	TOM1 ～ 4
HI-HAT	HI-HAT
CRASH	CRASH1、2
RIDE	RIDE
AUX	AUX1 ～ 4
AMBIENCE	AMBIENCE

1 つ前の画面に戻る
（[EXIT] ボタン）

前の画面に戻りたいときは、[EXIT] ボタンを押します。

操作を決定する
（[ENTER] ボタン）

値の確定、操作の実行、またはリストを表示するときに使います。

値を変える
（[-] [+] ボタン／ダイヤル）

カーソルで反転表示された値を変更するには、ダイヤルまたは [-] [+] ボタンを使います。また、[SHIFT] ボタンを押しながら操作すると、値の変化量が大きくなります。

メモ

[+] ボタンを押しながら [-] ボタンを押すと値が高速に大きくなり、[-] ボタンを押しながら [+] ボタンを押すと値が高速に小さくなります。

奏法について

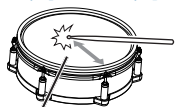
V71 は、アコースティック・ドラム同様、さまざまな奏法に対応しています。

注意

- 木製や樹脂製のスティックをお使いください。カーボン製や金属製のスティックを使うと、センサーが誤動作することがあります。
- ナイロン製のブラシをお使いください。金属製のブラシを使うと、センサーが誤動作したりパッドを傷つけたりすることがあります。

パッド

ヘッド・ショット

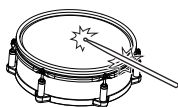


打点位置による音色変化

ヘッド部を叩きます。

特定のスネア音色では、ヘッドの中心から外周部にかけて叩いた位置の違いによる自然な音色変化が得られます。

リム・ショット



ヘッド部とリム部を同時に叩きます。

ヘッド・ショット時とは異なる音色（リム音色）が鳴ります。

クロス・スティック奏法



ヘッドに手を置きながらリム部を叩きます。

リム・ショット奏法時にはリム音色、クロス・スティック奏法時にはクロス・スティック音色というように、各奏法に対応した音色を鳴らし分けることができます。

リム・ショット奏法に対応するパッドを TRIGGER IN (2 SNARE) 端子に接続するか、クロス・スティック奏法が可能なデジタル接続対応のパッド (PD-14DSX、PD-140DS など) を接続して、スネアに割り当てます。

PD-14DSX、PD-140DS 以外は、ヘッドに触れないようにリム部のみを叩きます。

ブラシ奏法



ブラシでこする表現（ブラシ・スイープ奏法）ができます。

TRIGGER IN (2 SNARE) 端子にメッシュ・ヘッドのパッドを接続するか、ブラシ奏法が可能なデジタル接続対応のパッド (PD-14DSX、PD-140DS など) を接続して、スネアに割り当てます。

※ スネアのブラシ音色がアサインされたドラム・キットで、Brush Switch が「ON」のときにブラシ・スイープ奏法をすることができます。

詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

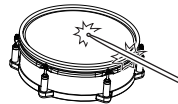
リム・ショットのニュアンスによる音色変化

特定のスネア音色やタム音色では、リム・ショットの微妙な叩きかたの違いによって音色のニュアンスが変化します。

通常のリム・ショット

ヘッド中心部とリム部を同時に叩きます。

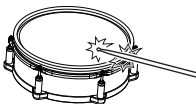
(オープン・リム・ショット)



浅いリム・ショット

(シャロウ・リム・ショット)

ヘッドのリムに近い部分とリム部を同時に叩きます。

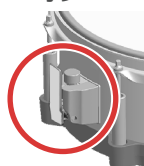


ストレイナーの操作 (PD-14DSX)

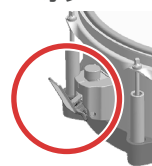
ストレイナーのレバーを操作して、特定のスネア音色のスネア・ワイヤー（響き線）をスネア・サイド（裏面）に付けた（オン）離したり（オフ）することができます。

レバーを操作する速度に応じて、操作音の音量が変化します。また、スネア・ワイヤーの操作以外にも、エフェクトのコントロール機能などもアサインすることができます。

オン

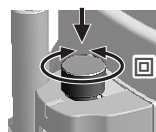


オフ

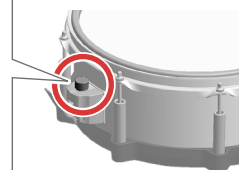


ストレイナーつまみを回して、特定のスネア音色のスネア・ワイヤーの張り具合の調節をしたり、つまみを押してソングの再生／停止をしたりと、さまざまな機能をアサインすることができます。

ストレイナーつまみ
押す (Switch)



回す (Knob)



➔ 詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

デジタル・ドラムの打点位置検出について

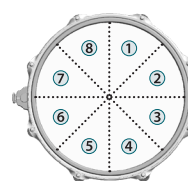
デジタル接続対応のパッドでは、パッドのどの部分を叩いたのか位置を検出しています（打点位置検出）。

たとえば、打面の中心または端、打面の右側または左側など、打点位置に応じてスネア音色が変化します。

打面の中心か端か



打面のどの位置を叩いているか



ハイハット

オープン／クローズ



ハイハット・スタンドのペダルの踏み込み具合により、オープンからクローズまでハイハットの音色が連続的に変化します。

フット・クローズ（ペダルを踏み込んで鳴らす）やフット・スプラッシュ（ペダルを踏み込んで瞬時にオープンして鳴らす）も可能です。

プレッシャー (VH-14D、VH-13)



クローズ状態からさらにペダルを踏み込んでハイハットを叩くと、踏み込む強さに応じて変化したクローズの音色を鳴らすことができます。

VH-11、VH-10、FD-9、FD-8 はプレッシャーに対応していません。

ボウ・ショット



トップ・シンバルの打面を叩く奏法です。接続したトリガー・インプットのヘッド側の音色が鳴ります。

打点位置検出が可能なパッド（VH-14D など）を使用すると、特定のハイハット音色では、ボウ部の打点に応じて音色のニュアンスが変化します。

エッジ・ショット

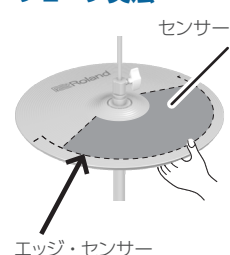


トップ・シンバルのエッジ（端）をスティックのショルダー部で叩く奏法です。図のエッジ・センサーの位置が叩かれたときに、接続したトリガー・インプットのリム側の音色が鳴ります。

エッジを真横から叩いても正しく鳴りません。図のように叩いてください。

打点位置検出が可能なパッド（VH-14D など）を使用すると、特定のハイハット音色では、エッジ部の打点に応じて音色のニュアンスが変化します。

チョーク奏法



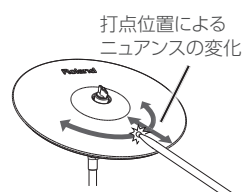
ハイハットを叩いたあと、エッジ・センサーを手でチョークする（つかむ）と、音が止まります。

VH-14D は、センサーの感知する範囲に手を置いて、音が止まります（ミュート）。

チョークやミュート状態で叩くと、音が短く鳴ります。

シンバル

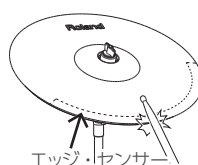
ボウ・ショット



シンバルの打面を叩く最も一般的な奏法です。接続したトリガー・インプットのヘッド側の音色に対応します。

特定のライド音色では、ボウ部の打点位置に応じて音色のニュアンスが変化します。

エッジ・ショット

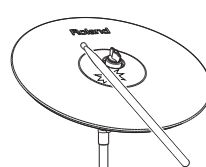


エッジ（シンバルの端）をスティックのショルダー部で叩く奏法です。図のエッジ・センサーの位置が叩かれたときに、接続したトリガー・インプットのリム側の音色が鳴ります。

エッジを真横から叩いても正しく鳴りません。図のように叩いてください。

打点位置検出が可能なパッド（CY-18DR など）を使用すると、特定のシンバル音色では、エッジ部の打点に応じて音色のニュアンスが変化します。

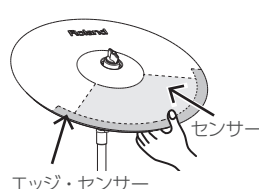
ベル・ショット



ベル部を叩く奏法です。図のベル部が叩かれたときにベルの音色が鳴ります。

TRIGGER IN（10 RIDE - BELL）端子に対応するパッドを接続するか、ベル・ショット奏法が可能なデジタル接続対応のパッド（CY-18DR など）を接続して、ライドに割り当てます。

チョーク奏法



シンバルを叩いたあと、エッジ・センサーを手でチョークする（つかむ）と、音が止まります（ミュート）。

CY-18DR は、センサーの感知する範囲に手を置いて、音が止まります。

チョークやミュート状態で叩くと、音が短く鳴ります。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

演奏する

ドラム・キットとインストゥルメント

V71 では、各パッドを叩いたときに鳴る音色を「インストゥルメント」と呼びます。各パッドに割り当てた音（インストゥルメント）のセットを「ドラム・キット」と呼びます。

ドラム・キットの構成は、以下のようになっています。



ユーザー・ドラム・キット 200

ユーザー・ドラム・キット 001

INSTRUMENT (インストゥルメント)

KICK INSTRUMENT	SNARE INSTRUMENT	TOM1 INSTRUMENT	TOM2 INSTRUMENT
TOM3 INSTRUMENT	TOM4 INSTRUMENT	HI-HAT INSTRUMENT	CRASH1 INSTRUMENT
CRASH2 INSTRUMENT	RIDE INSTRUMENT	AUX 1 INSTRUMENT	AUX 2 INSTRUMENT
AUX 3 INSTRUMENT	AUX 4 INSTRUMENT	INSTRUMENT の設定	

EQ/COMP の設定
イコライザー、コンプレッサー

BUS FX の設定
ルーティング、エフェクト・センド、エフェクト・パラメーター

MIXER の設定
パッドごとの音量、パン

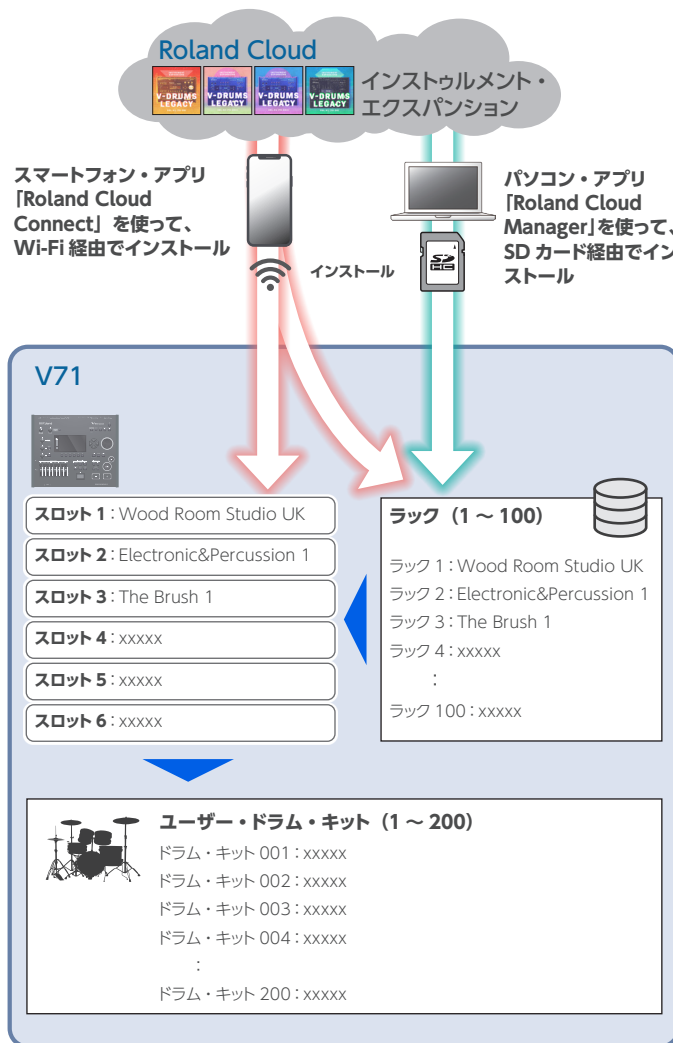
OTHERS (ドラム・キット全体の設定)
音量、ドラム・キット名、点灯色など

AMBIENCE の設定
ドラム・キット全体を集音する、オーバーヘッド

ラックとスロット

Roland Cloud では、DW をはじめとするドラムの名器や、過去の V-Drums フラグシップ・モデル、アーティストとコラボしたサウンドなどのインストゥルメント・エクспанションを提供します。

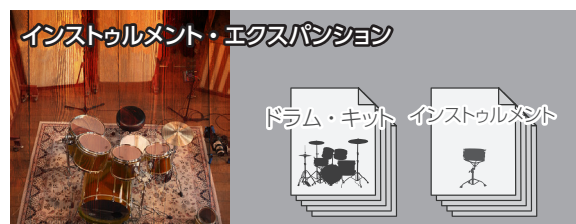
Roland Cloud から提供されるインストゥルメント・エクспанションは、スマートフォンのアプリ「Roland Cloud Connect」またはパソコンのアプリ「Roland Cloud Manager」を通じて、V71 の「ラック」にインストールし、「スロット」に読み込むことができます。



インストゥルメント・エクспанション

「インストゥルメント」や「ドラム・キット」は、本体内蔵（プリセット）に加えて、「インストゥルメント・エクспанション」で提供されるものがあります。

インストゥルメント・エクспанションは、複数の「ドラム・キット」と、サンプル波形を含む高度なモデリング音色である「インストゥルメント」のパッケージです。

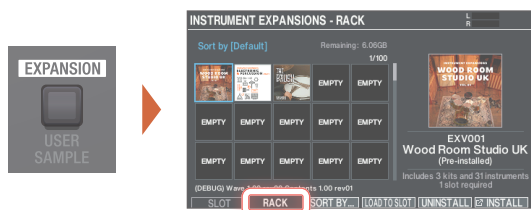


メモ

- スマートフォン・アプリ「Roland Cloud Connect」を使ったインストール方法については、別紙『Roland Cloud Connect セットアップ・ガイド』をご覧ください。
- パソコン・アプリ「Roland Cloud Manager」を使ったインストール方法については、『Roland Cloud ご利用ガイド』（Web）をご覧ください。

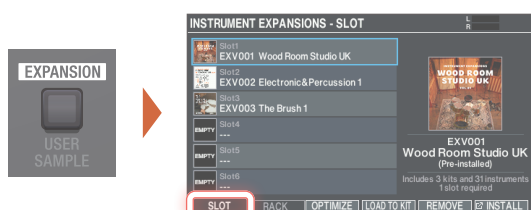
ラック (1 ~ 100)

「ラック」は最大 100 個のインストゥルメント・エクスパンションをインストールすることができる保存エリアです。



スロット (1 ~ 6)

ラックにインストールしたインストゥルメント・エクスパンションは「スロット」に読み込むことで演奏できるようになります (P.14)。スロット 1 ~ 6 は、最大 6 個のインストゥルメント・エクスパンションを読み込むことができます。



メモ

ラックとスロットの 1 ~ 3 には工場出荷時からインストゥルメント・エクスパンションが読み込まれています。

ユーザー・ドラム・キット (001 ~ 200)

スロット 1 ~ 6 にあるインストゥルメント・エクスパンションの中のドラム・キットは、ユーザー・ドラム・キット 001 ~ 200 にロードすることで、[KIT] ボタンやキット・リストからすぐに呼び出して演奏することができます。

※ 工場出荷時のドラム・キットに上書きして保存することができます。工場出荷時のドラム・キットに戻りたい場合は、一括またはドラム・キット単位で戻すことができます。詳しくは「工場出荷時の設定に戻す」(P.27)、「ドラム・キットを工場出荷時の設定に戻す」(P.28) をご覧ください。

ドラム・キットを選ぶ

1. [KIT] ボタンを押します。

KIT 画面が表示されます。



2. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、ドラム・キットを選びます。

KIT 画面について

この画面は、[KIT] ボタンを押すと表示される、V71 の基本となる画面です。

ブラシ・アイコン

Brush Switch が「ON」のときに表示

テンポ

キット・テンポが「ON」のときに表示

お気に入りアイコン

お気に入り (P.17) に登録しているドラム・キットを選んでいるときに表示

ユーザー・サンプル・アイコン

ユーザー・サンプル (P.22) を使っているドラム・キットを選んでいるときに表示

エクスパンション・アイコン

インストゥルメント・エクスパンション (P.14) のインストゥルメントを使っているドラム・キットを選んでいるときに表示

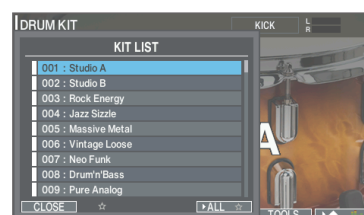
現在選んでいるパッド

MASTER OUT 出力の音量



リストからドラム・キットを選ぶ

KIT 画面で [F1] (LIST) ボタンを押すと、KIT LIST ウィンドウが表示され、一覧からドラム・キットを選ぶことができます。

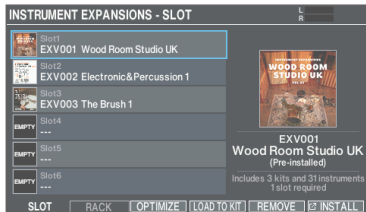


インストゥルメント・エクスパンションのドラム・キットを読み込む

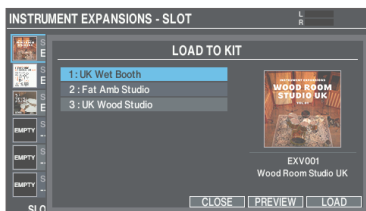
スロット 1 ～ 3 には工場出荷時からインストゥルメント・エクスパンションが読み込まれています。以下の手順でドラム・キットを読み込んで演奏することができます。

1. [EXPANSION] ボタンを押します。
2. [F1] (SLOT) ボタンを押します。

INSTRUMENT EXPANSIONS - SLOT 画面が表示されます。

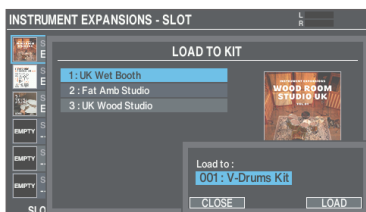


3. ロードしたいインストゥルメント・エクスパンションにカーソルを合わせ、[F4] (LOAD TO KIT) ボタンを押します。



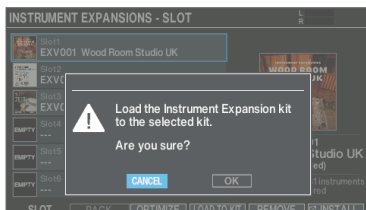
[F5] (PREVIEW) ボタンを押すと、ロードする前にドラム・キットの音を確認することができます。

4. ロードしたいインストゥルメント・エクスパンションのドラム・キットにカーソルを合わせ、[F6] (LOAD) ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、ロード先のドラム・キットを選びます。
6. [F6] (LOAD) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



7. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

ドラム・キットのロードが実行されます。

メモ

Roland Cloud からインストゥルメント・エクスパンションをインストールする方法については、別紙『Roland Cloud Connect セットアップ・ガイド』をご覧ください。

クリックを鳴らす

クリックをオン／オフする

1. [CLICK] ボタンを押します。

CLICK 画面が表示されます。



2. [F6] ボタンを押します。

クリックが鳴ります。

[CLICK] つまみで、クリックの音量を調節することができます。

3. もう一度、[F6] ボタンを押します。

クリックが止まります。

メモ

- [SHIFT] ボタンを押しながら [CLICK] ボタンを押して、クリックをオン／オフすることもできます。
- ヘッドホンだけにクリックを出力することもできます。
→『リファレンス・マニュアル』(Web)

テンポを変更する

1. CLICK 画面で「Tempo」を選び、[-] [+] ボタンまたはダイヤルでテンポを変更します。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押す／ダイヤルを回すと、小数点以下の値を変更することができます。

拍子の変更

1. CLICK 画面で「Beat」を選び、[-] [+] ボタンまたはダイヤルでテンポを変更します。

2. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

その他の設定については、『リファレンス・マニュアル』(Web)をご覧ください。

曲に合わせて演奏する

スマートフォンに入っている曲や本機で再生できるソングに合わせて、ドラム演奏を楽しむことができます。

スマートフォンの曲に合わせて演奏する

スマートフォンの曲を本機で鳴らしながら演奏することができます。

Bluetooth で無線接続する

スマートフォンと本機を Bluetooth で無線接続するには、スマートフォンに本機を登録する（お互いを認証する）ための「ペアリング」が必要です。

ここでは、例として iPhone を使った設定方法を紹介します。

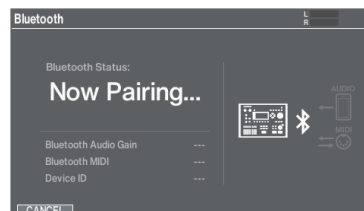


※ 本機とのペアリングが済んだスマートフォンは、再度ペアリングする必要はありません。「ペアリング済みのスマートフォンを接続する」(P.16) の手順をご覧ください。

スマートフォンを登録する（ペアリング）

1. 接続したいスマートフォンを、V71 周辺に置きます。
2. [✱] (Bluetooth) ボタンを押します。
3. [F6] (Bluetooth) ボタンを押して、Bluetooth Switch を「ON」にします。
4. [F1] (PAIRING) ボタンを押します。

「Now Pairing...」と表示され、V71 はモバイル機器からの応答を待ちます。



5. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



6. スマートフォンの Bluetooth 「デバイス」 欄に表示される「V71 AUDIO」をタップします。

本機とスマートフォンがペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

スマートフォン	「自分のデバイス」欄に「V71 AUDIO」が追加され、「接続済み」と表示される
V71	「Connected (AUDIO)」と表示される

7. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ペアリング済みのスマートフォンを接続する

1. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。

スマートフォンと本機が Bluetooth で接続されます。

※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、スマートフォンの「デバイス」欄に表示されている「V71 AUDIO」をタップしてください。

スマートフォンの曲を再生する

スマートフォンで曲を再生すると、本機に接続したヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーから音が鳴ります。

曲の音量は、本機の [MIX IN/Bluetooth] つまみ、Bluetooth Audio Gain、またはスマートフォン側で調節してください。

メモ

- 本機でスマートフォンの曲を操作することができます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。
- スマートフォンで再生した曲は、V71 の演奏音と一緒に録音することができます。
- MIX IN (STEREO) 端子にスマートフォンを接続して、スマートフォンの曲を本機で鳴らしながら演奏することもできます。

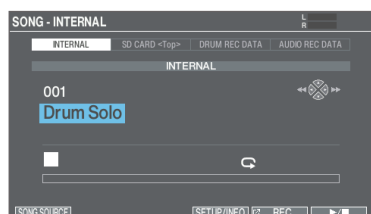
※ スマートフォンや音楽再生アプリによっては、V71 から曲の操作ができない場合があります。

V71 のソングに合わせて演奏する

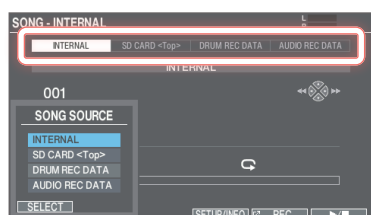
本機は、いろいろなジャンルの曲（ソング）を内蔵しています。内蔵ソングには、オーディオ・データのもの、ドラム演奏を録音したもの（MIDI データ）があります。また、SD カードに入れたオーディオ・ファイル（WAV / MP3）をソングとして再生することができます。

1. [SONG] ボタンを押します。

SONG 画面が表示されます。

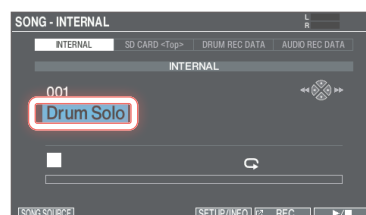


2. [F1] (SONG SOURCE) ボタンを押して SONG SOURCE リストを表示し、[F1] (SELECT) ボタンを押して再生するソングの種類を選びます。



ソングの種類	説明
INTERNAL	内蔵ソング
SD CARD <Top>	SD カードのソング
DRUM REC DATA	本機で録音したドラム演奏データのソング
AUDIO REC DATA	本機で録音したオーディオ・データのソング

3. ソングにカーソルを合わせ、[-] [+] ボタンまたはダイヤルでソングを選びます。



4. [F6] (▶/■) ボタンを押します。

選んだソングが再生されます。

操作子	機能
[F6] (▶/■) ボタン	ソングの再生 / 停止 *1
[SHIFT] + [◀] ボタン	ソングの先頭に移動 *1
[SHIFT] + [▶] ボタン	ソングの末尾に移動 *1
[◀] ボタン	ソングの早戻し *1
[▶] ボタン	ソングの早送り *1
ダイヤル	ソングの早戻し、ソングの早送り *1、*2
[SONG] つまみ	ソング（オーディオ・ファイル）の音量調節 *3

*1：ソングの種類によっては、無効になることがあります。

*2：シーク・バー（再生位置を示すバー）にカーソルがあるときに有効です。

*3：内蔵ソングのドラム演奏音や、録音したドラムの演奏音には効きません。

メモ

- ソング全体を繰り返して再生したり、一定区間を繰り返して再生したりすることができます。
- SD カードのオーディオ・ファイルをクリック・トラックとして出力することで、ソングに合わせてクリックを鳴らすことができます。
→ 『リファレンス・マニュアル』（Web）

パソコンから SD カードにオーディオ・ファイルを保存するときは

SD カードのトップ・ディレクトリー（一番上の階層）に保存されたオーディオ・ファイルを再生することができます。

※ 1 つのフォルダーに保存するファイルは 200 個以内にしてください。

※ ソングの長さは、1 ファイルが 1 時間以内になるようにしてください。

メモ

詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

V71 で再生できるオーディオ・ファイル

	WAV ファイル	MP3 ファイル
形式 (拡張子)	WAV (.wav)	MP3 (.mp3)
サンプリング周波数	44.1kHz	44.1kHz
ビット数	16、24 ビット	64kbps ~ 320kbps

※ 16 文字以上のファイル名やフォルダー名は、正しく表示されません。また、2 バイト文字を使ったファイルやフォルダーには対応していません。

お気に入りのドラム・キットを登録する／呼び出す

お気に入りのドラム・キットを登録しておくと、即座に呼び出すことができます。

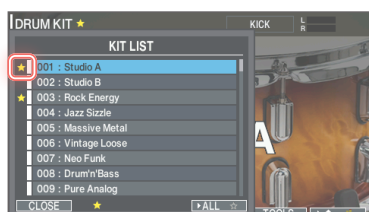
お気に入りの登録する

1. KIT 画面 (P.13) で、[F1] (LIST) ボタンを押します。
KIT LIST ウィンドウが表示されます。

2. カーソル [▲] [▼] ボタンまたはダイヤルで、登録するドラム・キットにカーソルを合わせます。

3. [F2] (★) ボタンを押します。

ドラム・キットに「★」マークが付き、お気に入りのドラム・キットに登録されました。



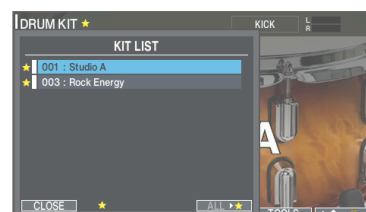
メモ

お気に入りの登録したドラム・キットを解除するときは、[F2] (★) ボタンを押して「★」マークを非表示にします。

登録したドラム・キットを呼び出す

1. KIT 画面 (P.13) で、[F1] (LIST) ボタンを押します。
2. [F4] (▶ALL ★) ボタンを押します。

お気に入りの登録したドラム・キットの一覧が表示されます。



3. カーソル [▲] [▼] ボタンまたはダイヤルでドラム・キットを選びます。
4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

演奏を録音する

自分の演奏を簡単に録音して、再生することができます。

ドラムの演奏データ (MIDI) として録音 (DRUM REC) したり、オーディオ・データ (WAV) として録音 (AUDIO REC) したりすることができます。



詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

ドラム・キットをカスタマイズする

V71 では、ヘッドの種類やシェルの深さなどドラム自体のカスタマイズから残響の調節まで、幅広い音作りができます。

ボタン	説明
[INSTRUMENT] ボタン	インストゥルメント（音色）を設定します。
[EQ/COMP] ボタン	パッドやドラム・キットごとのイコライザー、コンプレッサーなどを設定します。
[MIXER] ボタン	パッドやドラム・キットごとの音量、パンなどを設定します。
[AMBIENCE] ボタン	ドラム・キット全体を集音する、オーバーヘッド・マイクの音や、ドラムを演奏する場所の残響や鳴りかたを設定します。
[BUS FX] ボタン	バス（音声の通り道）に割り当てるエフェクトやルーティング（接続順）を設定します。
[OTHERS] ボタン	ドラム・キットに関するさまざまな設定をします。

設定の保存

V71 では、変更した値は自動的に保存されるため、設定を保存する操作は必要ありません。

また、電源をオフにするときも設定が保存されます。

インストゥルメントをエディットする (INSTRUMENT)

スネア・ドラム、キック・ドラムなど、それぞれのインストゥルメント（楽器音）を設定します。

インストゥルメントを選ぶ

→ 選べるインストゥルメントについては、『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

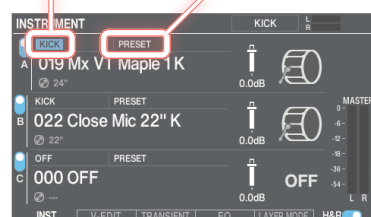
1. [INSTRUMENT] ボタンを押します。

2. [F1] (INST) ボタンを押します。

INSTRUMENT 画面が表示されます。

インストゥルメント・グループ

インストゥルメント・バンク



3. 設定するパッドを選びます (P.18)。

4. カーソル・ボタンを押して、インストゥルメントにカーソルを合わせます。



5. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、インストゥルメントを選びます。

メモ

[ENTER] ボタンを押して、リストからインストゥルメントを選ぶこともできます。

6. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

メモ

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードや V71 エディターから V71 に取り込み、インストゥルメントとして鳴らすことができます (P.22)。

設定するパッドを選ぶ

パッドを叩いて選ぶ

各パッドの設定をするときは、設定するパッドを叩いて選びます。パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。

メモ

[LOCK] ボタンを押して点灯させておくと、設定するパッドが切り替わらないようにすることができます。フレーズを演奏しながら設定するときに便利です。

SELECT [◀] [▶] ボタンで、パッドを選ぶ

SELECT [◀] [▶] ボタンを使って、設定するパッド（トリガー・インプット番号）を選ぶこともできます。

[RIM] ボタンは、リム対応のパッドを使うときに、ヘッド側とリム側のどちらを設定するのかが選びます。3 ウェイトリガー対応パッドの場合は、ヘッド側、リム側、ベル側を切り替えます。

リム側またはベル側を選んでいるときは、[RIM] ボタンが点灯します。

パッドの音を試聴する ([HEAD PREVIEW] ボタン / [RIM] (PREVIEW) ボタン)

現在選んでいるパッドの音は、[HEAD PREVIEW] ボタン / [RIM] (PREVIEW) ボタンを押して鳴らすことができます。

ボタンを押す強さで音量が変わります。また、音量を固定することもできます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながら [HEAD PREVIEW] ボタン / [RIM] (PREVIEW) ボタンを押すと、スネアのヘッド外周部の音やシャロウ・リム・ショット、クロス・スティック音色、ハイハットのクローズド音色、ライドのベル音色なども鳴らすことができます。

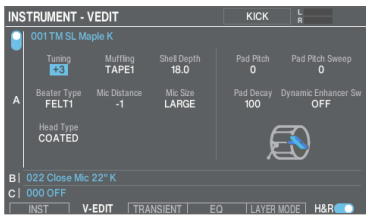
インストゥルメントを細かくエディットする (V-EDIT)

V-EDIT では、好みのヘッドを選んでチューニングをしたり、マフリング（ミュート）を取り付けたりするなど、アコースティック・ドラムと同じ感覚で音作りをすることができます。

→ 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』（Web）をご覧ください。

1. [INSTRUMENT] ボタンを押します。
2. [F2] (V-EDIT) ボタンを押します。

V-EDIT 画面が表示されます。



3. 設定するパッドを選びます (P.18)。
4. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンまたはダイヤルで、値を変更します。
5. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

パッドやドラム・キットの音質を調節する (EQ/COMP)

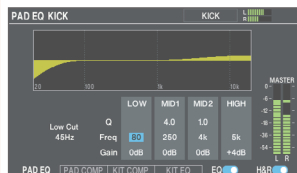
パッドやドラム・キットごとに音量変化（キット・コンプレッサー／パッド・コンプレッサー）と音質（キット・イコライザー／パッド・イコライザー）を調節することができます。

→ 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』（Web）をご覧ください。

1. [EQ/COMP] ボタンを押します。
2. ファンクション・ボタンを押して、設定画面を表示させます。

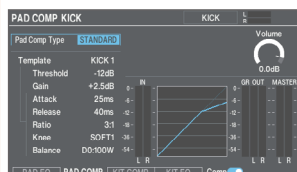
PAD EQ 画面

パッドごとのイコライザーを設定します。
ヘッドとリムそれぞれ設定することができます。



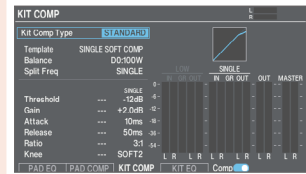
PAD COMP 画面

パッドごとのコンプレッサーを設定します。
ヘッドとリム共通の設定です。



KIT COMP 画面

ドラム・キット全体にかかるコンプレッサーをキットごとに設定します。



KIT EQ 画面

ドラム・キット全体にかかるイコライザーをキットごとに設定します。



3. 設定するパッドを選びます (PAD EQ、PAD COMP のみ) (P.18)。
4. [F5] ボタンを押して、イコライザー／コンプレッサーのオン／オフを切り替えます。
5. イコライザー／コンプレッサーの設定を変更します。
6. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ミキサーをエディットする (MIXER)

パッドやドラム・キットごとの音量、パン（定位）などを設定します。

→ 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』（Web）をご覧ください。

1. [MIXER] ボタンを押します。
2. ファンクション・ボタンを押して、設定画面を表示させます。

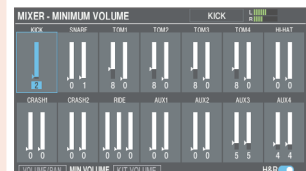
VOLUME/PAN 画面

各パッドの音量やパンを設定します。



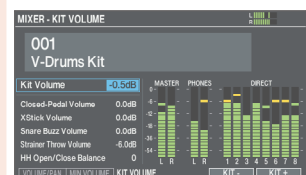
MINIMUM VOLUME 画面

各パッドの最小音量を設定します。



KIT VOLUME 画面

ドラム・キットの音量を設定します。



3. ミキサーの設定を変更します。
4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

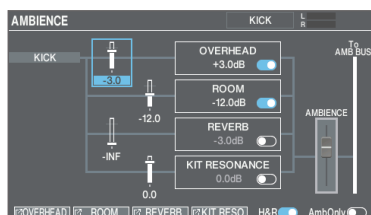
演奏する場所の残響を再現する (AMBIENCE)

ドラム・キット全体を集音する、オーバーヘッド・マイクや、ドラムを演奏する場所の残響や鳴りかたを再現します (アンビエンス)。オーバーヘッド・マイクの音や、部屋の種類や大きさ (ルーム・アンビエンス) や残響音 (リバーブ) などを調節することで、より自然で臨場感のあるドラム・サウンドが得られます。

→ 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(Web) をご覧ください。

1. [AMBIENCE] ボタンを押します。

AMBIENCE 画面が表示されます。



2. ファンクション・ボタンを押して、設定画面を表示させます。

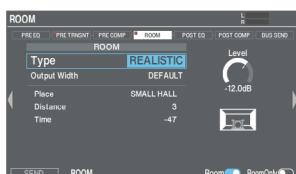
オーバーヘッド・マイクを設定します。

OVERHEAD 画面



ROOM 画面

ルーム・アンビエンスを設定します。



REVERB 画面

リバーブを設定します。



KIT RESONANCE 画面

ドラム・キット全体の共鳴の度合いを設定します。



3. アンビエンスの設定を変更します。

4. 各画面でアンビエンスのオン／オフを切り替えます。

5. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

エフェクトをかける (BUS FX)

パッドごとにさまざまなエフェクトをかけることができます。

バス (音声の通り道) に割り当てるエフェクトやルーティング (接続順) を設定します。

バスは4つ (BUS-A ~ D) あり、それぞれに2つのエフェクト (FX1、FX2) を設定することができます。

→ 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(Web) をご覧ください。

1. [BUS FX] ボタンを押します。

2. ファンクション・ボタンを押して、設定画面を表示させます。

ROUTING 画面

パッドやバスのルーティングを設定します。



PAD ASSIGN 画面

各パッドのルーティングを一覧で設定します。



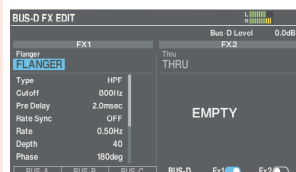
PAD SEND 画面

各パッドのバスFXのセンド量を設定します。



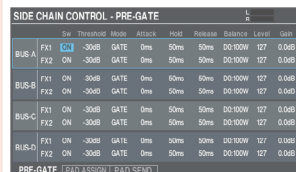
FX EDIT 画面

BUS-A ~ D の、FX1 / FX2 のエフェクトを設定します。



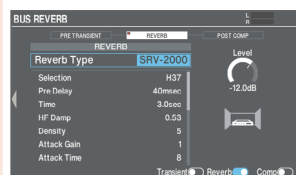
SIDE CHAIN 画面

サイド・チェーンを設定します。



BUS REVERB 画面

バスにかけるリバーブを設定します。



3. エフェクトの設定を変更します。

4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ドラム・キットをエディットする (OTHERS)

ドラム・キットの音量や操作子の点灯色など、キットに関するさまざまな設定をします。

→ 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(Web)をご覧ください。

1. [OTHERS] ボタンを押します。

KIT OTHERS 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンまたはダイヤルで設定したいメニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー	説明
XSTICK	クロス・スティックの設定をします。
STRAINER	ストレイナーの設定をします。
SNARE BUZZ	スネアへの共鳴の設定をします。
KIT VOLUME	ドラム・キットの音量を設定します。
KIT NAME	ドラム・キットの名前を変更します。
MUTE GROUP	ミュート・グループの設定をします。
KIT MIDI	ドラム・キットの MIDI に関する設定をします。
KIT COLOR	ボタンやダイヤルの点灯色を設定することができます。
POSITION/PEDAL	ヘッド部とリム部などの打点位置のエリアを設定します。
KIT OPTION	ブラシ、ドラム・キットのテンポ、KIT 画面の表示などを設定します。

選んだメニューに応じて、設定を変更します。

→ 各メニューについて、詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web)をご覧ください。

3. ドラム・キットの設定を変更します。

4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ドラム・キットの音量を設定する (KIT VOLUME)

ドラム・キットの音量を設定します。

1. KIT OTHERS 画面で [KIT VOLUME] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

KIT VOLUME 画面が表示されます。



2. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、値を変更します。

設定値	-INF ~ +6.0dB
-----	---------------

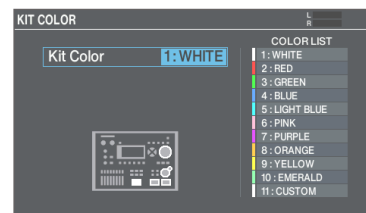
ボタンやダイヤルの点灯色を設定する (KIT COLOR)

ドラム・キットごとに、ボタン ([KIT] ボタン、[-] [+] ボタン、[HEAD PREVIEW] ボタン、[RIM] (PREVIEW) ボタン)、ダイヤル、ストレイナー・インジケーターの点灯色を変えることができます。

ドラム・キットのジャンルに合わせて点灯色を変えたり、インストールメントの作り込みの目安にしたりするなど、識別したいときに便利です。

1. KIT OTHERS 画面で [KIT COLOR] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

KIT COLOR 画面が表示されます。



2. ダイヤルで点灯色を選びます。

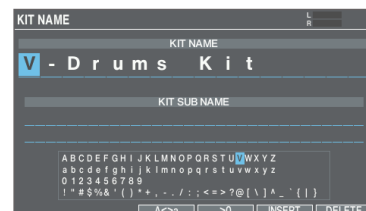
3. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ドラム・キットの名前を変更する (KIT NAME)

現在選んでいるドラム・キットの名前を変更します。

1. KIT OTHERS 画面で [KIT NAME] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

KIT NAME 画面が表示されます。



2. 名前を変更します。

キット・ネーム (上段) は 16 文字、サブ・ネーム (下段) は 64 文字まで入力できます。

操作子	説明
カーソル・ボタン	変更する文字にカーソルを合わせます。
[-] [+] ボタン、ダイヤル	文字を変更します。
[F3] (A<>a) ボタン	大文字／小文字を切り替えます。
[F4] (>0) ボタン	数字を選びます。
[F5] (INSERT) ボタン	カーソル位置に空白を挿入します。
[F6] (DELETE) ボタン	カーソル位置の文字を削除します。

3. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

オーディオ・ファイルを取り込む／鳴らす (USER SAMPLE)

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードから V71 に取り込み、インストゥルメントとして鳴らすことができます (ユーザー・サンプル機能)。ユーザー・サンプルは、他のインストと同じように、音色を調節したり、エフェクトをかけたりできます。

V71 に取り込めるオーディオ・ファイル

WAV ファイル	
形式 (拡張子)	WAV (.wav)
サンプリング周波数	44.1、48、96kHz
ビット数	16、24、32 ビット
時間	最大 180 秒

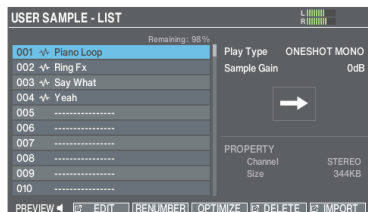
※ 31 文字以上のファイル名やフォルダー名は、正しく表示されません。また、2 バイト文字を使ったファイルやフォルダーには対応していません。

オーディオ・ファイルを取り込む

オーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとして、V71 に取り込みます。

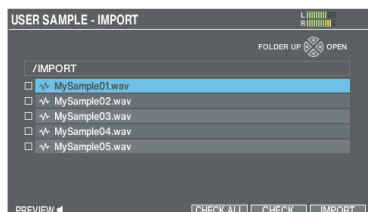
1. SD カードを V71 に挿入します (P.4)。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら [EXPANSION] ボタンを押します。

USER SAMPLE LIST 画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンでインポート先の番号を選び、[F6] (IMPORT) ボタンを押します。

USER SAMPLE IMPORT 画面が表示されます。



※ すでにデータがある番号を選ぶと、「User Sample already exists!」とメッセージが表示されます。データの無い番号を選んでください。

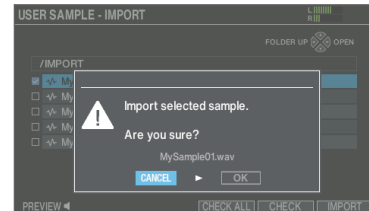
4. カーソル・ボタンでオーディオ・ファイルを選び、[F6] (IMPORT) ボタンを押します。

カーソル・ボタン	機能
[▲] ボタン	カーソルの移動 (上)
[▼] ボタン	カーソルの移動 (下)

カーソル・ボタン	機能
[◀] ボタン	フォルダーを抜ける
[▶] ボタン	フォルダーに入る

5. [F6] (IMPORT) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

6. 「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

オーディオ・ファイルが取り込まれます。

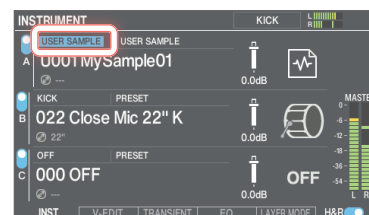
メモ

オーディオ・ファイルをまとめて取り込むこともできます。

→ 詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

ユーザー・サンプルをインストゥルメントに割り当てる／鳴らす

1. [INSTRUMENT] ボタンを押します。
2. [F1] (INST) ボタンを押します。
3. 設定するパッドを選びます (P.18)。
4. インストゥルメントのカテゴリーにカーソルを合わせ、[-] [+] ボタンまたはダイヤルで「USER SAMPLE」を選びます。



5. インストゥルメントにカーソルを合わせ、[-] [+] ボタンまたはダイヤルでユーザー・サンプルを選びます。



6. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

ユーザー・サンプルを割り当てたパッドを叩くと、ユーザー・サンプルが鳴ります。

設定する

トリガーの設定

パッドからの信号を V71 が確実に処理できるように、トリガーを設定します。

パッドの種類を設定する

トリガー・バンクで使用するパッドの種類（トリガー・タイプ）を、トリガー・インプットごとに指定します。

トリガー・タイプ

トリガー・タイプは、さまざまなトリガーのパラメーターを、各パッドに適した値に調整し、ひとまとめにしたものです。各トリガー・インプットで使っているパッドに最適な設定をするために、接続しているパッドの型番（タイプ）を指定します。

トリガー・バンク

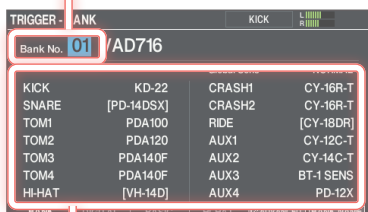
トリガー・バンクは 14 個のトリガーの設定を 1 つにまとめたものです。

メモ

トリガー・バンクについて、詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

1. [TRIGGER] ボタンを押します。
2. [F1] (BANK) ボタンを押します。

TRIGGER - BANK 画面が表示されます。
トリガー・バンク・ナンバー



トリガー・タイプ

3. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、トリガー・バンクを設定します。

※ デジタル接続対応のパッドが割り当てられているトリガー・インプットは、トリガー・タイプを変更することはできません。

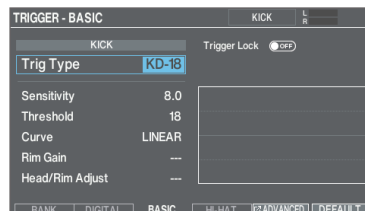
→ トリガーの設定について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

パッドの感度を個別に調整する

パッドの感度を調整し、叩く強さと音の大きさのバランスを調節します。

1. [TRIGGER] ボタンを押します。
2. [F3] (BASIC) ボタンを押します。

TRIGGER - BASIC 画面が表示されます。



3. 設定するパッドを選びます (P.18)。
4. カーソル・ボタンを押して、「Sensitivity」を選びます。
5. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、感度を調節します。
→ パッドの感度調節について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

インストゥルメント・エクスパンションの設定をする

Roland Cloud からインストールしたインストゥルメント・エクスパンション（ドラム・キットとインストゥルメントのパッケージ）を設定します。

→ インストゥルメント・エクスパンションの設定について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

1. [EXPANSION] ボタンを押します。
2. ファンクション・ボタンを押して、設定画面を表示させます。



3. インストゥルメント・エクスパンションの設定を変更します。
4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

Roland Cloud からドラム・キットやインストゥルメントを取り込む

以下の 2 つの方法で、Roland Cloud からインストゥルメント・エクスパンション（ドラム・キットとインストゥルメントのパッケージ）を V71 にインストールすることができます。

- スマートフォン・アプリ「Roland Cloud Connect」と V71 を Wi-Fi で接続し、Wi-Fi 経由でインストールする
→ 別紙『Roland Cloud Connect セットアップ・ガイド』をご覧ください。
- パソコン・アプリ「Roland Cloud Manager」からインストゥルメント・エクスパンションを SD カードに保存して、SD カード経由でインストールする
→ 『Roland Cloud ご利用ガイド』（Web）をご覧ください。

データをバックアップする

V71 に記憶されているすべての設定を、SD カードに保存（バックアップ）したり、V71 に書き戻したり（ロード）することができます。

※ SD カードにデータをバックアップするときは、あらかじめ SD カードを挿入しておきます（P.4）。

メモ

ドラム・キットごとにバックアップ／ロードすることもできます。

→ 詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

SD カードを初期化する

SD カードを初期化（フォーマット）します。

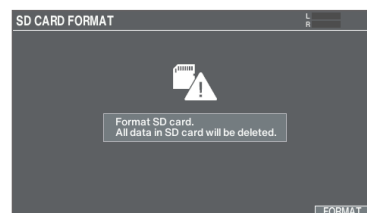
※ 初めて V71 で SD カードを使うときは、SD カードをフォーマットしてください。

注意

SD カードを初期化すると、SD カード内のデータはすべて消去されます。

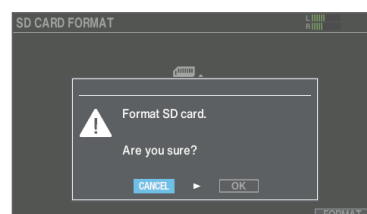
1. SD カードを V71 に挿入します（P.4）。
2. [BACKUP] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンまたはダイヤルで「SD CARD FORMAT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD FORMAT 画面が表示されます。



4. [F6] (FORMAT) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

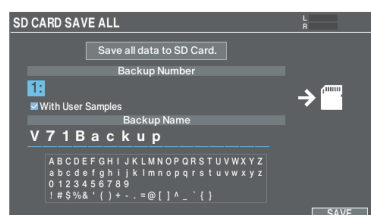
5. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD カードが初期化されます。
6. [ENTER] ボタンを押して操作を終了します。

SD カードにバックアップする (SAVE)

V71に記憶されているすべての設定を保存します (最大99セット)。

1. SD カードを V71 に挿入します (P.4)。
2. [BACKUP] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンまたはダイヤルで「SAVE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD SAVE ALL 画面が表示されます。



4. バックアップを設定します。

パラメーターの選択: カーソル・ボタン

値の選択: [-] [+] ボタンまたはダイヤル

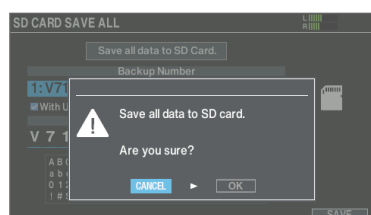
パラメーター	説明
Backup Number	バックアップ番号を選びます。
With User Samples	ユーザー・サンプルをバックアップするか選びます。
Backup Name	バックアップ・データの名前を付けます。

※ ユーザー・サンプルもバックアップする場合、ユーザー・サンプルのサイズによっては、保存に数分かかることがあります。

※ ユーザー・サンプルをバックアップしない場合、ユーザー・サンプルを削除したり、リナンバーしたりすると、バックアップを読み込んで、ドラム・キットは正しく再現されません。

5. [F6] (SAVE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

6. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードに設定が保存されます。

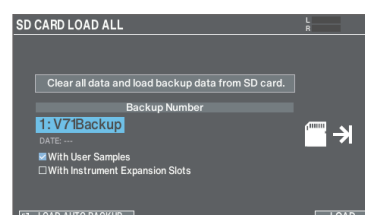
7. [ENTER] ボタンを押して操作を終了します。

バックアップ・データを SD カードから読み込む (LOAD)

SD カードに保存したバックアップ・データを V71 に読み込みます (ロード)。

1. SD カードを V71 に挿入します (P.4)。
2. [BACKUP] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンまたはダイヤルで「LOAD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD LOAD ALL 画面が表示されます。



4. ロードを設定します。

パラメーターの選択: カーソル・ボタン

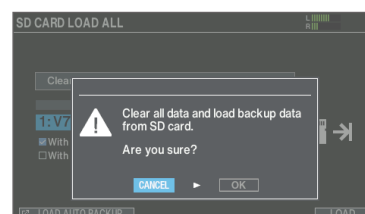
値の選択: [-] [+] ボタンまたはダイヤル

パラメーター	説明
Backup Number	バックアップ番号を選びます。
With User Samples	ユーザー・サンプルをロードするか選びます。
With Instrument Expansion Slots	インストゥルメント・エキスパンションをロードするか選びます。 ※ インストゥルメント・エキスパンションがラックにインストールされていない場合は、スロットへはロードされません (P.12)。

※ ユーザー・サンプルを読み込むと、本体内のユーザー・サンプルはすべて消去されます。また、ユーザー・サンプルのサイズによっては、読み込みに 10 分以上かかることがあります。

5. [F6] (LOAD) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

6. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードからバックアップ・データが読み込まれます。

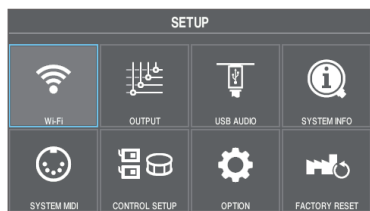
7. [ENTER] ボタンを押して操作を終了します。

V71 全体の設定をする (SETUP)

V71 の出力先の設定や、フットスイッチの設定など、V71 全体で共通の設定を「セットアップ」といいます。

1. [SETUP] ボタンを押します。

SETUP 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンまたはダイヤルで設定したいメニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー	説明
Wi-Fi	V71 を Wi-Fi に接続し、「Roland Cloud Connect」アプリと接続することができます。
OUTPUT	音の出力先を設定します。
USB AUDIO	USB オーディオを設定します。
SYSTEM INFO	本体メモリーの残量やプログラムのバージョンを確認します。
SYSTEM MIDI	V71 全体の MIDI 設定をします。
CONTROL SETUP	フットスイッチやパッドに機能を割り当てます。
OPTION	プレビュー・ボタン、オーディオ入力、ディスプレイ、オート・オフなどの設定をします。
FACTORY RESET	工場出荷時の設定に戻します。

3. 選んだメニューに応じて、設定を変更します。

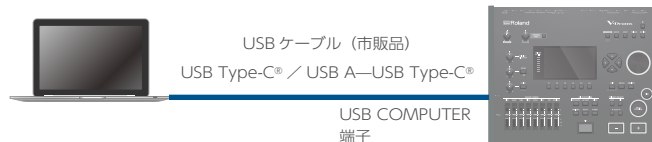
→ 各メニューについて、詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

パソコンやスマートフォンと接続して使う

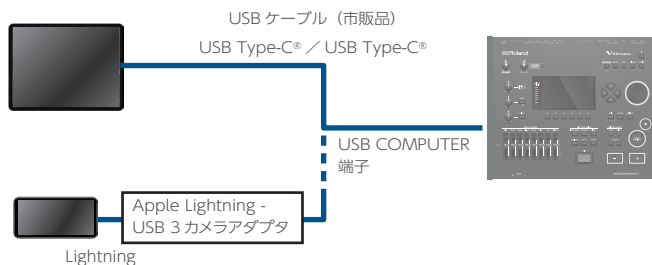
V71 では、パソコンやスマートフォンと接続して以下のことができます。

- パソコン (Windows / Mac) と接続し、DAW へ 32ch のマルチ・トラックでオーディオ録音したり、MIDI 録音したりすることができます (VENDOR)。
- スマートフォン／タブレットと直接オーディオ / MIDI 通信することができます (GENERIC)。

パソコン (Mac / Windows) と接続



iPhone / iPad と接続



※ 一部の Lightning 端子仕様の Apple 製品と「Lightning - USB カメラアダプタ」を利用した接続で、オーディオにノイズが発生することが確認されています。
この症状は、「Lightning - USB 3 カメラアダプタ」を使用すると改善する場合があります。
詳細と最新の対応情報は、「V71 サポート情報」をご確認ください。

※ 「Lightning - USB カメラアダプタ」と「Lightning - USB 3 カメラアダプタ」の違いについては、Apple 社の製品情報でご確認ください。

USB ドライバーの設定をする

V71 専用 USB ドライバー (VENDOR) と、OS 標準のドライバー (GENERIC) を切り替えます。

1. [SETUP] ボタンを押します
2. [USB AUDIO] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. Driver Mode にカーソルを合わせ、[-] [+] ボタンまたはダイヤルで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Driver Mode	GENERIC	OS 標準のドライバーを使用します。USB MIDI と USB オーディオ (2ch 録音/再生) が使用できます。
	VENDOR	ローランドが提供している V71 専用のドライバーを使用します。USB MIDI と USB オーディオ (32ch 録音/再生) が使用できます。

メモ

本体の電源を入れ直すと有効になります。

4. 電源を入れ直します。

メモ

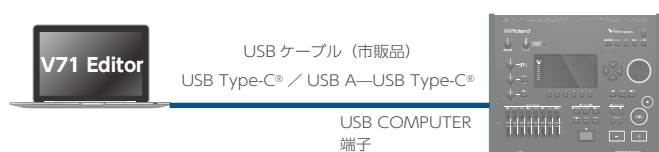
USB ドライバーのダウンロードとインストール手順について詳しくは、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

パソコンでエディター・アプリ [V71 Editor] を使う

エディター・アプリ [V71 Editor] を使うことで、パソコン (Windows / Mac) を使って V71 の音色をエディットすることができます。パソコンの大きな画面で音色をエディットすることができるため便利です。

詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。



工場出荷時の設定に戻す

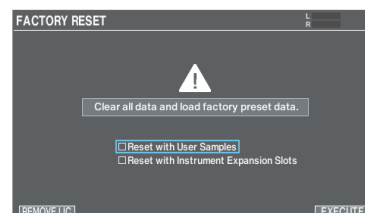
V71 に記憶されている設定値を、工場出荷時の状態に戻します。これをファクトリー・リセットと呼びます。

注意

この操作をすると、V71 にあるデータや設定がすべて失われます。必要なデータや設定は、SD カードに保存してください (P.24)。

1. SETUP 画面で [FACTORY RESET] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

FACTORY RESET 画面が表示されます。



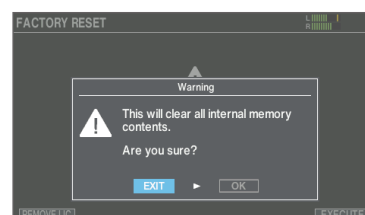
パラメーターの選択: カーソル・ボタン

値の選択: [-] [+] ボタンまたはダイヤル

パラメーター	説明
Reset with User Samples	V71 に取り込んだすべてのユーザー・サンプルを工場出荷時に戻すか選びます。 ※ ユーザー・メモリーのすべてのユーザー・サンプルは、工場出荷時のデータに上書きされます。
Reset with Instrument Expansion Slots	スロットにロードしたインストゥルメント・エクスパンションを工場出荷時に戻すか選びます (P.12)。

2. [F6] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは [EXIT] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
ファクトリー・リセットが実行されます。
4. [ENTER] ボタンを押して操作を終了します。
HI-HAT OFFSET CALIBRATION 画面が表示されます。
5. [F6] (ADJUST) ボタンを押して「ハイハットの設定をする」(P.8) の手順 4 に従って、ハイハットの設定をしてください。

ドラム・キットを工場出荷時の設定に戻す

コピー機能を使って、ドラム・キットごとに工場出荷時の設定（プリセット・キット）に戻すことができます。

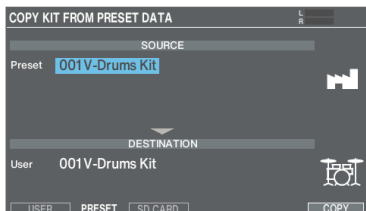
1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[BACKUP]** ボタンを押します。

COPY 画面が表示されます。

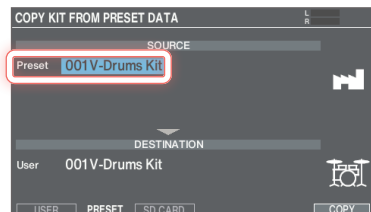
2. カーソル・ボタンまたはダイヤルで「KIT」を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

3. **[F2]** (PRESET) ボタンを押します。

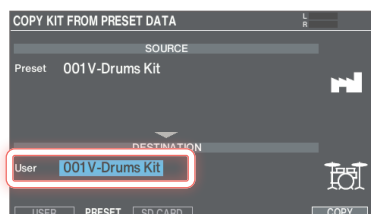
COPY KIT FROM PRESET DATA 画面が表示されます。



4. プリセット・キットにカーソルを合わせ、**[-]** **[+]** ボタンまたはダイヤルで、工場出荷時の設定に戻したいキットと同じ番号のプリセットのキットを選びます。

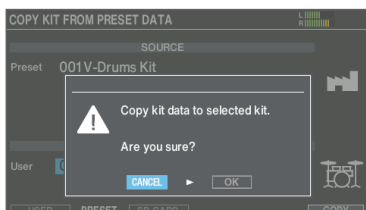


5. ユーザー・ドラム・キットにカーソルを合わせ、**[-]** **[+]** ボタンまたはダイヤルでプリセットに戻したいキットを選びます。



6. **[F6]** (COPY) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

7. **[OK]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

キットのコピーが実行されます。

安全上のご注意

⚠ 警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



⚠ 注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 取りはずしが可能な部品

ネジ (P.4)



接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、緩んではずれないように確実に取り付けてください。



使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

設置について

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼される場合は、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
 - 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）について当社サポート窓口にご相談ください。
- その他、発生した問題についてお困りの場合も、当社サポート窓口にご相談ください。
 - ※ 当社サポート窓口への連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

- 本機は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネット・プロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを經由して接続してください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
- 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
- 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などをする事は法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をする事に関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- SD ロゴ 、SDHC ロゴ  および SDXC ロゴ  は SD-3C、LLC の商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- **Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.t-engine.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。

- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2009-2018 ARM Limited. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Copyright © 2016 Freescale Semiconductor, Inc.
Copyright © 2016-2017 NXP. All rights reserved.
Licensed under the BSD-3-Clause;
You may obtain a copy of the License at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.
This software component is licensed by ST under BSD 3-Clause license, the "License";
You may obtain a copy of the License at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

- Roland、V-Drums は、日本およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1